



## 全日制 2年次 学年通信

特別号 2025.12.22

12月16日(火)3・4限目に、滋賀県平和祈念館より村田明さんを迎えて「滋賀で学ぶ戦争の記録」と題し、講演いただきました。2年次生は3学期にひかえた修学旅行の事前学習でもありました。太平洋戦争時の兵士として戦った滋賀の方に焦点をあて、当時の徴兵された人数や当時の状況など、今はもう亡くなられた方のビデオ証言や職員の方が聞き取られた生の声を聴くことができました。講演前には「戦争をなくすためにあなたにできることは何だと思いますか」を考え講演を聞きました。講演後には①戦争はどのようなものだと感じましたか②講演で印象に残った話は何でしたかという質問に答えました。ここでは、みなさんが答えてくれた一部を紹介したいと思います。



戦争をなくすためにあなたにできることは何だと思いますか

講演前

☆戦争についての話を知らない人に対して、戦争の恐ろしさや被害を知ってもらい戦争を絶対に起こしてはいけないと思ってもらおう☆日本が関わってきた数々の戦争の歴史を学校の授業やSNSなどで学ぶ。そして、知るだけでなくその先に戦争とはどのようなものか伝えていくことが自分たちの出来ることだと思う☆人を大切にする☆戦争のきっかけになるようなことはしない(差別や国に対する侮辱など)ネットにころがっているニュースを信用しすぎない、だまされない。相手の文化を知ったり体験して交流し仲を深める☆差別や偏見をなくす☆歴史上の残酷な戦

争を思い出し過去の歴史を繰り返さないように☆自分が選挙の権利を持ったら選挙に行き国をよくし他国との関係をよくしていく☆身近な友達や家族の考えを聞き平和が良いことを伝える。☆戦争の悲惨さを今の若い人たちに伝え続けること

戦争はどのようなものだと感じましたか

講演後

☆誰も得をしない無意味なもの☆本当に怖くて悲しいものだと思います。身近な人をなくしたりするので戦争はあってはならないものだと思います☆20歳に満たない14歳の少年が自分から行くことを言ったりそこまでしなければならないほど大変で人不足だったんだと思いました。なくしたいと思った☆当時は戦場に行くというのがめでたい事とされていたが今思えば人の命がどんどん奪われていってほんとによくないことだなと思いました☆戦争は身近なものということが分かりました☆人の間違った行動だと思った☆一人一人の意思が尊重されずいろんな人が無差別に死ぬんだなと思った☆無くならなければならないもの。これから再び起きてはいけないもの過去を知ってその悲しさを伝えていく出来事☆人の命を簡単になくしていくもの☆戦争は無駄なものであり怖くて絶対にしてはいけないと思いました。こんなに人がなくなってつらくて、むなしいものはしてはいけない☆二度と繰り返してはいけないもの☆今まで起きたできごととしらなくて長崎や広島のことだけでなく自分の住んでいる県の小さなことまで知ることができた☆爆弾 1 つでたくさんの人が亡くなったりけがをしたりする恐ろしいものだし関係ない人まで被害を受け一生忘れられない残酷な歴史だと思いました☆空から爆弾が落ちてくるのとかとても怖くて、その中でも必死に戦っている人がいてすごいと思った。友達が死んだり身近な人が亡くなってしまうなど怖い



講演で印象に残った話は何でしたか

☆能登川に収容所があったことや列車に爆弾が落とされていたこと☆実際に滋賀県にもたくさんの空襲被害があったことが分かりました☆学校の先生が14歳の児童に向かって戦場に誰か行くよう言っていた事実、今では考えられない☆永源寺で男の子の兄弟が母親の目の前で被爆したことで一人は一瞬で命を奪われたと聞いてそれを目の前で見たお母さんはどんな気持ちだったかすぐに想像させられました。改めて戦争は恐ろしいを感じたお話でした☆赤紙が届き出征するときお祝いの言葉を伝えていたこと☆自分が知らなかっただけで滋賀県や普通に住んでいるこの近くでも戦争が起きていたこと☆滋賀に落とされた爆弾が長崎に落とされた原子爆弾の予行練習であったこと☆パンプキン爆弾、操縦士が生き残るために練習として落としていたと聞いて悲しくなりました。最後の動画も印象的で一緒に帰っただけなのに親から怒られたり、友人の死体を見たりしんどいなと思った☆教師の道をあきらめ飛行機を操縦する学校へ入り知覧特攻隊として沖縄で果てたこと

〈感想はそのまま掲載しています〉